

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	第二にじっこひろば		
○保護者評価実施期間	2025年7月11日		～ 2025年8月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	2025年5月14日		～ 2025年5月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年6月～11月		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・スペースが広く活動スペースの確保ができています。	・活動に応じた場所の設定、パーテーションの使用。 ・死角ができないよう職員同士の連携。	・クールダウンをしたい児童への場所の確保をできるように、職員から誘導していく
2	個別支援計画書について。	・その子に応じた計画・個別・集団の使い分けをしている。 ・児童によって本人からのニーズの聞き取りを行う。	・保護者と児童のニーズのズレが生じた際の作成の仕方。 ・連携している機関との情報共有。 ・個別支援会議において、できる限り多くの職員が参加できる ・意見を言えるように努めていく。 ・より具体的・評価のしやすい計画の作成ができるように。
3	プログラムが固定化しないように配慮している。	・子どもの「やりたいこと」をベースとして、支援を行っているが、職員の意図的な活動への声掛けにより、子どもの遊びの幅を広げられるように努めている。 ・季節を意識した活動を提供している。	・職員の技術の向上。 ・季節を意識した活動は時期の偏りがある。 ・長期休みなど朝から来所がある際の打ち合わせ。 ・イベントの実施にあたっての保護者・児童への周知。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域交流について。	・地域交流にあたっての経験不足。イメージができていない職員が多い。 ・地域交流を求めているお声もあり。	・開催されている地域のイベントへの参加。 ・地域の貢献に向けて職員一人一人が考えていく。 ・建屋内(高齢事業所)のご利用者様との連携を図る
2	・保護者への助言について。 ・保護者の交流会について。	・知識やスキル不足。 ・保護者との関係構築。 ・保護者交流会の開催方法、内容の決定。	・職員が個別ケースへの対応の経験を積む。 ・保護者交流会の開催方法・雰囲気の再検討。
3	・災害時の訓練の報告。 ・マニュアル更新の周知。	・おたより(紙面)での広報手段のみ。事業所独自の広報の手段がない。HP、SNSなど。 ・訓練内容の偏りがある。	・訓練を建屋内だけでなく、事業所内でも実施。 ・訓練の様子を写真にておたよりに載せる。 ・細かな訓練や研修への参加も載せることで職員育成の「見える化」を図る。